

令和 8 年

第 1 回防府市議会定例会

一 般 質 問

3 月 4 日 (6 人)

1 曾我 好則・2 山田 耕治・3 河村 孝・4 梅本 洋平  
5 河杉 憲二・6 久保 潤爾

3 月 5 日 (6 人)

7 中谷 哲・8 上野 忠彦・9 生野 美輪・10 藤本 真未  
11 原田 典子・12 重田 直輝

3 月 6 日 (5 人)

13 村木 正弘・14 三原 昭治・15 和田 敏明・16 田中 健次  
17 藤村 こずえ

No.	1	曾我 好則	
質 問 事 項			要 旨
1	令和8年度当初予算について		<p>当初予算の編成にあたっては、物価高による事業コストの増加などによる厳しい状況の中、補正予算と一体的に編成されるなど、ご苦労されたと拝察される。</p> <p>来年度当初予算は、第6次総合計画の初年度にあたり、重点プロジェクトを始めとする諸施策を確実に進めていただく必要があると考えるが、市長のご所見を伺う。</p>

No.	2	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
1	港振興について		<p>(1) 三田尻中関港の取扱貨物量は令和5年で約403万トンと回復傾向にあるものの、平成30年・31年のピーク時と比較すると依然として低い水準。令和5年度の港湾取扱貨物の上位5品目では、特定産業への依存度が非常に高い状況である。EV化や海外生産移転が進む中、この構造をどのように捉え、今後どのような貨物の多角化を考えているのか？</p> <p>(2) 国内外からの誘客拡大のため、クルーズ船の誘致に力を入れて取り組んで行く必要があると認識するが、今後の取り組みについての考えは？</p> <p>(3) 貨物量や貿易額の拡大には、港湾機能の高度化と物流の効率化が不可欠。荷役設備の更新など、港湾機能強化に向けた取り組みについてどのように進めていくのか？</p> <p>(4) 港湾機能を最大限に活かすためには、国道2号や沿岸部の幹線道路など、道路網の強化が不可欠。物流効率化の観点から、道路整備についての考えは？</p>
2	自然災害に備えた防災・減災対策の充実について		<p>(1) 災害発生時の被害を最小限に抑えるために、河川、排水路、道路等の点検および計画的な整備を今後は更に進めていく必要があるのでは？</p> <p>(2) 災害時における情報提供手段の多様化と周知の強化、防災ラジオの申請状況について伺う。また、避難所における高齢者・要配慮者支援体制の整備はどう進められているのか？</p> <p>(3) 強風や積雪による倒木被害を想定した危険木の事前伐採を進めるべきでは？</p>

No.	3	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1	中小企業の「稼ぐ力」の強化と持続可能な産業基盤の構築について		<p>本市経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者は、今、深刻な人手不足、物価高、そして、米国による関税措置という三重の荒波に直面している。特に製造業が盛んな本市において、そこで働く市民の雇用や賃金にも直結しかねない喫緊の課題である。</p> <p>このような情勢の中、第6次総合計画のスタートにあたり、「中小企業の稼ぐ力」を守り、育むとともに、国際情勢の変化に対する機動的な経営支援と、さらには、未来を見据えた、産業基盤の構築と人手不足対策が不可欠である。</p> <p>従来の人材確保や働き方改革支援に留まらず、「選ばれる職場づくり」への抜本的な支援、さらには地元企業と子どもたちが触れ合う機会の創出など、次世代が「防府で働く夢」を描ける持続可能な産業基盤の構築について、ご所見をお伺いする。</p>
2	自転車の安全利用について		<p>令和8年4月1日の改正道路交通法施行により、自転車利用に関するルールが厳格化され、16歳以上の利用者を対象に反則金を科す「青切符」制度が導入される。交通安全のために、本制度の円滑な定着には、利用頻度の高い学生や高齢者への徹底した周知に加え、学校現場における交通安全教育のさらなる強化、および交通ルールを遵守しやすいインフラ整備が不可欠であると考えます。本市の現在の準備状況と、今後の取り組み方針について、ご所見をお伺いする。</p>
3	子どもたちとスマホについて		<p>GIGAスクール構想により1人1台端末が浸透する一方、私費スマホに起因するSNSトラブルやネット依存が深刻化している。教育現場を通じ、フィルタリングの普及啓発だけでなく、生成AI時代に即した情報モラル教育や、親子で学ぶリテラシー向上策など、子どもたちの健康と心の安全を守るための、ご所見をお伺いする。</p>

No.	4	梅本 洋平		
質 問 事 項			要 旨	
1	市斎場「悠久苑」の予約手続きの利便性向上について		<p>市斎場「悠久苑」の予約手続きについて、遺族の負担軽減と葬祭事業者・市の事務効率化の観点から、葬祭事業者による事前予約制度を設けるなど、より利便性の高い仕組みの導入を提案し、市の所見を問う。</p>	
2	民間施設等を活用した水泳授業の現状について		<p>令和7年度に桑山中・小野中で試行実施した「民間施設等を活用した水泳授業」について、現時点の状況と評価を伺う。</p> <p>(1) 学校から施設までの移動手段・所要時間を含む安全管理の実態、熱中症・交通安全対策、トラブルの有無。</p> <p>(2) 民間インストラクターと教員の役割分担、学習指導要領との整合、生徒の習得状況の変化。</p> <p>(3) 生徒・教職員アンケート、授業数確保、教職員負担軽減、施設維持費等を踏まえた教育委員会の評価と、今後の検討事項。</p>	

No.	5	河杉 憲二
質問事項		要 旨
1	年間観光客数300万人の達成について	<p>第6次防府市総合計画では、重点プロジェクトとして「観光客数年間300万人、5年間で1,500万人の実現」を掲げています。</p> <p>計画初年度となる令和8年度は、市制施行90周年、山口DC、防府天満宮御神忌1125年式年大祭という絶好の機会を迎えるが、観光客数300万人の達成に向け、どのような取組を進められるのか伺います。</p>

No.	6	久保 潤爾
質問事項		要 旨
<p>1 法定外公共物について</p> <p>2 基金の運用状況について</p>	<p>「がんばる地域応援事業」により、利用者のいる法定外公共物の維持管理は改善の方向に進んでいると感じている。一方で、今後増えてくると思われる利用者のいない法定外公共物に対してはどのように維持管理をしていられるのか、執行部のご所見を伺う。</p> <p>平成30年の一般質問により、基金の一括管理・一括運用を行っていただいている。質問した当時はマイナス金利政策のこともあり、運用収入の増加よりは、事務の効率化を目的とする面が強かった。</p> <p>しかし、マイナス金利政策も終わり「金利のある世界」となった現在、運用収入も好転しているのではないかとと思われる。</p> <p>基準財政収入額に算入されない貴重な自主財源である基金の運用収入の活用方法について伺う。</p>	

No.	7	中谷 哲	
質 問 事 項			要 旨
1 防災対策について	<p>来年度スタートする第6次総合計画では、引き続き、「安全・安心を第一にしたまちづくり」が重点プロジェクトの最初に掲げられ、防災対策が更に進むことを期待している。</p> <p>こうした中、昨年12月に県の地震・津波防災対策検討委員会において、見直し作業を進めている南海トラフ巨大地震の被害想定速報値が公表され、今月最終報告案がとりまとめられる予定となっている。</p> <p>激甚化する災害に対する本市の防災対策について市の考えを伺う。</p>		
2 空き家の利活用促進について	<p>本市では、空き家バンク制度を通じ、有資格者による仲介を前提とした、安全で安心な取引環境を提供する取り組みが進められている。</p> <p>しかし、空き家所有者が売却の意思を手軽に表明しづらい現状があると考えられる。</p> <p>登録手続きの簡略化などの改善により、活用されていない空き家の有効活用が進む可能性が期待される。</p> <p>そこで、空き家利活用の促進についてどのように取り組むのか伺う。</p>		

No.	8	上野 忠彦
質問事項		要 旨
1	公民館の建替え促進について	<p>公民館は、地域住民の生涯学習の場として、また、自治会活動の中心的役割を担う場として重要な役割を担っています。さらに、防災における地域の避難場所として欠かせないことから、その役割は、ますます高まっていくことになると思います。</p> <p>また、投票率向上のためにも、学校施設以外での投票所としても活用できるものと考えます。そこで、建替え促進に関する御所見を伺う。</p>
2	市管理の護岸施設の嵩上げ及び耐震補強について	<p>市管理の護岸施設は、平成11年の越波を考慮して平成25年度にC. D. L（基本水準面）+6.1mで整備が完了した。しかしながら、県においては、台風等による波浪嵩を考慮して+6.3mを計画断面として、新田地区の既設護岸を補強整備されている。そこで、市の今後の整備方針について、御所見を伺う。</p>
3	市街化調整区域の内水氾濫対策の促進について	<p>上下水道局から令和8年3月に雨水管理総合計画及び内水浸水想定区域図が示される予定であるが、この計画は下水道計画区域を中心に検討している。そこで、市街化調整区域の内水氾濫対策に関して、御所見を伺う。</p>
4	通学路の安全対策について	<p>小学校付近の通学路に関して、「スクールゾーン」や「通学路注意」の道路標示の設置、市道側溝や用水路の蓋掛けの整備の促進が必要と考える。そこで、市の今後の整備方針について、御所見を伺う。</p>
5	空き缶やたばこのポイ捨て禁止の周知と犬・猫の糞対策の促進について	<p>小学生の通学路において、空き缶やたばこのポイ捨て及び犬・猫の糞が多く散見される。そこで、市の今後の対策の促進について、御所見を伺う。</p>

No.	9	生野 美輪
質 問 事 項		要 旨
1	こども家庭センターにおける子育て支援の充実について	<p>本市では「ほうふっ子応援パッケージ」を中心に切れ目のない子育て支援を展開しています。しかしながら、近年、家庭を取り巻く環境や悩みは多様化しており、個々のニーズに応じた寄り添い型の支援がますます重要になっています。</p> <p>こうした中、子ども・子育て支援に関する相談窓口の一元化を図る「こども家庭センター」の開設から1年が経過いたしました。現在の利用状況を踏まえ、更なる支援の充実にどのように取り組まれていくのかお伺いいたします。</p>
2	学校支援員の役割と教員との連携について	<p>配慮を必要とする児童・生徒が増加する中、きめ細やかな支援の充実は重要な課題です。本市における学校支援員の役割と教員との連携状況について、及び支援の質を高める今後の取組についてお伺いします。</p>

No.	10	藤本 真未
質問事項		要 旨
1	地域クラブ活動送迎バス運行について	<p>(1) 5月より送迎バスの運行が開始される予定であるが、アンケート実施時の回答者数および、利用希望者数について伺う。</p> <p>(2) 公共交通機関の利用に対する支援が継続されている中で、送迎バスの運行ルートはどのような基準・経過で決定されたのか伺う。</p> <p>(3) 申込状況に応じた運行ルートの見直しや、空き時間の活用による運行についても検討が進められているとのことであるが、現段階ではどのように考えているのか伺う。</p> <p>(4) 導入予定の連絡用システムおよび通知システムの内容と運用方法について伺う。</p>
2	LINE及び、HP利便性向上について	<p>LINEはリッチメニューの導入、ホームページはトップページのリニューアルが行われたが、依然として見にくさが残っていると感じる。ページ内容は更新されているものの、新着情報に反映されていない場合もあり、更新内容の整理や発信方法が市として統一されていない印象を受ける。LINEについても、関心のある分野の情報のみを取得できる仕組みに改善されたが、現状では必要な情報が伝わりにくい面も見受けられる。画像や図表と組み合わせた発信など、市民にとって理解しやすい工夫が必要ではないかと考える。</p> <p>以上を踏まえ、LINEおよびホームページの情報発信の在り方と今後の改善方針について、本市の考えを伺う。</p>

No.	1 1	原田 典子
質 問 事 項		要 旨
1	留守家庭児童学級の現状について	<p>共働き世帯の増加に伴い、留守家庭児童学級の役割は年々大きくなっている。ただ単に放課後の「預かり」の場ではなく、子どもにとっては第二の生活の場であると言える。子どもたちが本当に「自由に」「安心して」「自分らしく」過ごせる環境になっているか現状を伺う。</p> <p>(1) 本市の現状について 過去5年間の留守家庭児童学級入所児童数、待機児童数、学級数、定員以上となっている学級数の推移について</p> <p>(2) 生活環境について</p> <p>(3) 支援体制について</p>
2	生活保護について	<p>本市の生活保護相談の対応は、生活困窮者に真に寄り添うものとなっているか。申請段階や却下後においても孤立させない支援体制が構築されているか検証が必要である。あわせて、生活保護基準引き下げ違憲判決に本市としてどのように対応していくのかを問う。</p> <p>(1) 申請のタイミングについて</p> <p>(2) 生活保護申請却下後の対応について</p> <p>(3) 生活保護基準引き下げ違憲判決への対応について 本市において対象となる世帯は何世帯見込まれるのか。対象者への通知方法はどのように行うのか。また、すでに生活保護を廃止された方への周知はどのように行うのか。</p>

No.	1 2	重田 直輝
質 問 事 項		要 旨
1	防府第二テクノタウンと大道地区の産業団地を主軸とした企業誘致について	<p>(1) 防府第二テクノタウンについて</p> <p>ア. 企業誘致における、所有者である民間事業者と市の役割分担および連携体制について伺う。</p> <p>イ. 令和2年以降、新規立地がない状況について、その要因をどのように分析しているか。 その分析を踏まえ、これまで実施した改善策および今後の対応方針について伺う。</p> <p>(2) 大道地区の産業団地について</p> <p>ア. 既存の民間の産業団地がある中で、大道地区に新たな産業団地を市と土地開発公社が連携して整備する狙いを伺う。</p> <p>イ. 事業費、区画数、整備スケジュール等の事業概要は。 また、市として想定する対象業種、雇用規模、市内雇用や定住への波及効果など、誘致したい企業像をどのように描き、どのような戦略で取り組むのかを伺う。</p>

No.	13	村木 正弘	
質問事項			要 旨
1	「生涯スポーツ」の推進について		<p>現在策定中の「第3次防府市スポーツ推進計画」では、成人の週一回以上のスポーツ実施率を38.5%から65%にするという高い目標が掲げられている。この目標達成には、従来の競技スポーツの枠を超え、日常生活の中で誰もが気軽に体を動かせる環境づくりが不可欠である。</p> <p>年齢や身体的状況に関わらず高齢者や障害のある方も含め、誰もが参加できる多様なスポーツ環境の整備が重要と考える。本市の現状と今後の取り組みについて、ご所見をお伺いする。</p>

No.	14	三原 昭治	
質問事項			要 旨
1	市議会棟の環境整備について		<p>市議会棟は、昭和57年5月に建設され、築後44年が経過しています。一方、市庁舎は昨年1月に新築され、本来なら議会も市政連携や利便性などの機能面から新庁舎に入庁すべきと考えますが、現在、既設の議会棟において継続使用しています。これまで多少の改修が行われましたが、まだ老朽化が目立つ箇所やデジタル社会の推進面において対応整備が必要とされる点もあり、今後の改修、整備等における取り組みは。</p>
2	市道整備の現状と今後の取り組みについて		<p>昔から、道路整備状況は、その自治体のまちづくりの象徴ともいわれています。防府市における市道整備と現状。また、整備、不備、不良箇所における対応は、どのように把握し、対応、実施されているのか。これらにおける優先順位とは、どのような基準が設けられているのか。その取り組みは。</p>

No.	15	和田 敏明		
質問事項			要 旨	
1	公民館について		(1) 玉祖公民館の新設をしては如何か。	
			(2) 公民館のあり方について 機能を拡充しては如何か。	
2	安全・安心なまちづくりに ついて		(1) 区画線等、道路環境の整備が行き届いて おらず、市民の安全をどのように考えてい るのか。	
			(2) 街路樹等の根によるアスファルトやイン ターロックの押し上げなど、道路の凹 凸の安全対策は行き届いているのか。	

No.	16	田中 健次	
質問事項			要 旨
1 孤独・孤立対策について	<p>(1) 本市の世帯数に対して、単身世帯は何世帯ありますか。そのうち、高齢者はどのくらいか。</p> <p>(2) 5月は、「孤独・孤立対策強化月間」とされていますが、本市のこれまでの取組状況は、どうなっていますか。</p> <p>(3) 孤独・孤立対策推進法が、2024年（令和6年）4月に施行された。努力義務とされた孤独・孤立対策地域協議会の設置について、市執行部のお考えをお伺いします。</p>		
2 広聴機能の充実について	<p>(1) 市政について、市民の意見を幅広く聴くため、市政懇談会、意見交換会のような場を、各種団体や希望する団体と持つことを制度化すべきではないか。</p> <p>(2) 市ホームページなどで、広聴の内容を豊富化させるべきではないか。</p>		

No.	17	藤村 こずえ
質問事項		要 旨
<p>1 医療・保健体制の充実について</p>	<p>市民が安心して暮らしていくためには地域医療体制の充実と、病気にならないための予防の取り組みが重要である。本市では県立総合医療センターの建て替えが進められており、最先端医療が引き続き本市で提供されることは市民にとって大きな安心である。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 県立総合医療センターの建て替えを踏まえ、地域医療の充実に向けた本市の取組について伺う。</p> <p>(2) 日頃の健康管理はもちろんであるが、各種検診を受けることが重要。検診受診率向上のための今後の取組について伺う。</p>	
<p>2 放課後児童の居場所確保と、放課後等デイサービスについて</p>	<p>放課後等デイサービスは、療育を必要とするこどもにとって学校や家庭と異なる空間で自分らしく過ごせる居場所であり、生活支援や成長の場として欠かせないものである。こうした放課後等デイサービスなどの療育支援に対する相談やニーズは高まっている。こどもが適切な時期に必要な支援を受けられるよう、早期から切れ目のない支援体制の確保が重要である。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市における放課後等デイサービスの利用状況や、療育支援体制の、現状と課題について</p> <p>(2) 療育を必要とするこどもと、その家族を支援していくため、相談支援や関係機関との連携が重要。</p> <p>今後の取組について伺う。</p>	